

令和6年度事業報告書

公益社団法人
全国競輪施行者協議会

事 業 概 要

令和6年度の我が国の経済情勢は、企業収益が過去最高を更新し、設備投資も33年ぶりに100兆円を超えるなど、企業が堅調さを維持しており、基調として緩やかな回復が続いた。しかしながら、家計においては賃金の伸びが物価上昇に追いついていないことから、個人消費は力強さを欠き、景気の回復力は弱い状態が続いた。

こうした状況の下、競輪業界における令和6年度の総車券売上高は、対前年度比が11.7%増え、1兆3,282億4,400万6,800円となり、令和5年3月に競輪最高会議で上方修正された中期基本方針の売上目標額1兆2,500億円を大幅に更新した。

本会においては、社会還元最大化のために競輪を行っていることを強く認識するとともに、売上及び施行者収益額の向上に向け様々な取組を実施しており、その主な内容は次のとおりである。

◆ 令和7年度の開催に係る開催枠組みの見直し

令和7年度以降の開催枠組については、競輪制度委員会において施行者の意見をとりまとめ、企画戦略委員会に報告・協議の上、競輪の持続的成長と安定的な運営を目的として検討を実施した。策定された枠組みは、2028年度の目標を見据え、現行方針との整合を保ちながら、新たな試行施策やレース体系の再編を盛り込んだ。

◆ 令和6年能登半島地震復興支援競輪の実施

令和6年2月から7月にかけて全国の競輪施行者により実施された「能登半島地震復興支援競輪」の収益の一部を、被災された方々の生活再建および被災地域の復興支援を目的として、日本赤十字社を通じて総額7,150万円を寄付した。

◆ 大阪・関西万博への協賛

令和7年度開催の2025年日本国際博覧会を支援するため、令和3年度から「大阪・関西万博協賛競輪」を開催して収益の一部を拠出しており、令和6年度は対象開催を特別競輪等（サマーナイトフェスティバル、オールガールズクラシックを除く。）及び記念競輪に拡大し、支援を一層強化した。

◆ ギャンブル等依存症対策

他公営競技と共同で「つい賭けすぎてしまうあなたへ 今、相談という、第一歩」という新標語を作成したほか、インターネット投票におけるアクセス制限の強化を目的にKEIRIN.JPのログイン画面に注意喚起メッセージを表示する改修を実施

した。また、各民間ポータルサイト及び提携サイトが実施している電子マネーへのチャージ額や車券購入額、的中時の払戻額に応じたポイント付与等における過剰なキャンペーンの実施状況を注視し、都度、是正を求めた。

◆ 競輪公式投票C T Cにおける活性化策の実施

競輪公式投票C T Cの売上(7賭式)は1,494億574万6,000円と対前年度比96.2%、総会員数は55万996人と対前年度比104.5%となった。

電話・インターネット投票の活性化を目的に、「購入促進や離脱防止」を目指したキャンペーンの見直しやブランディング施策として、キービジュアルを「やらなきゃC T C」、キャンペーンビジュアルを「ドドドドドカーンと！キャンペーン」とすることで、期待感を醸成するとともに統一感を持ったキャンペーンを実施し、あわせてWEBサイトやWEB広告、カムバックキャンペーンなどを展開した。

◆ 戦略的な広報の実施

「競輪のスポーツ性」、「メジャー性」を伝えるとともに、令和4年度から使用しているCMコンセプト「こんなスポーツ、他にないだろ？DRAMATIC SPORTS. KEIRIN」を継続使用しながら、新たなCMを制作し1,959本のテレビCM放送を行った。

また、競輪の興味や関心を高め、車券購買・来場促進に繋がる取組みとして、若年層にターゲットを絞り、YouTubeにおいて、CMの素材を活用したインターネット広告等を実施した。

◆ 2028V I S構築に係る対応

2028V I S構築における対応方針、機能実装等を情報関連委員会で決定した。また、2028V I Sの概算コスト（開発費・保守費）について施行者向けに地区説明会を実施し、同内容に係る施行者意見の聴取を行った。

情報関連委員会の下部組織として設置された作業部会は計3回実施し、協議・検討した協議結果を情報関連委員会に報告した。